

林政学特論 (2 単位)

担当者氏名 宮林茂幸・関岡東生

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

1. 林政学の学問範囲とその役割、及び森林・林業・林産業及び山村問題の現状について学ぶ
2. 森林・林業・林産業・山村の現状理解とその問題点と政策的解決手段等について考えることを目的とする。
3. ①まず、森林資源の現状、森林や林業資本の動向、産業としての林業や社会資本としての森林等と国民経済との関係を理解する。
②地球レベルでの森林利用とわが国における森林利用の特徴について、国民経済とのかかわりで理解する。
③将来における森林整備のあり方や地域 (ローカル) での森林・林業資本のあり方について理解する

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

森林資源	林業資本	林業地代	林業労働
地域林業	地方林政	木材流通	林産業

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
授業計画	1. 森林資源政策論 2. 世界の森林資源 I 3. 世界の森林資源 II 4. 森林利用政策論 5. 森林整備と山村経済 6. 生産物と産業資本 7. 林業資本とその構造 8. 生産力と生産関係 9. 林産物生産と労働 10. 木材流通の特徴 11. 木材加工産業の特徴 12. 地域林業政策論 13. 木材加工流通政策論 14. 森林政策の方向 15. 総合討論	・そもそも森林とは何か、その上で森林資源とは何かについて学習する。 ・世界における森林資源の特徴を面積や材積の量別に、地域別に明らかにする。 ・森林分布の特徴と樹種及び地域文化特性について ・森林資源利用の変遷と地域経済について ・森林計画制度の展開と地域林業・地域産業 ・森林からの原料供給はどんなものが創られるか ・生産資本と生産関係について、林業生産の構造特性 ・林業労働の特徴と持続的生産・循環型林業について ・木材の流通経路をたどり流通資本について ・木材商品とは何か、木材の高付加価値生産とは ・木材の国民経済における位置づけと産業政策 ・過去・現代・未来における林業政策の特徴と方向	◎テーマと内容に関わる図書を活用し、輪読しながら理解を深める。◎教科書として、塩谷勉著の「林政学」他を使用する。◎また、学会誌や専門雑誌などからテーマに関連する文献を活用する。◎講義ではレジュメを配布し、キーワードについて説明するので、講義の後復習すること

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

『林政学』/塩谷勉/地球社 (1983)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

『林政学』/半田良一編/文永動 (1990)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

宿題などの課題 (20 点)、テーマに対する発表 (50 点)、レポート課題提出 (30 点)

◆オフィスアワー

授業の時に質問受付の日時を案内することとする。

◆その他受講上の注意事項

常に課題（修論テーマ）を念頭に置き、自主的に勉強することが何よりも必要です。必ず自分のテーマと関連させながら授業に望むこと。
